

令和5年度に行う主な施策と予算

令和5年度当初予算は、3月に町長選挙が行われたため、主に経常的経費、継続的に行っている事業、および国など他の機関と調整済の事業など当初予算に計上する必要のある経費を基本とした骨格予算を編成しました。

新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業 1億6,541万円

新型コロナウイルスワクチンの接種体制を確保し、ワクチン接種を円滑に行います。

橋梁長寿命化等事業 9,405万円

橋梁の定期点検および改修工事などを行います。

牧地区ほ場整備事業 1,920万円

牧地区のほ場整備事業に伴い、ほ場整備工事（第2期）を行います。

高山地区ほ場整備事業 1,089万円

高山地区のほ場整備事業に伴い、測量実施設計、換地計画策定などを行います。

総合行政ネットワーク機器更新事業 945万円

総合行政ネットワーク機器の更新を行います。

地域の魅力創出事業 615万円

地域おこし協力隊の活動を支援し、さまざまなコミュニティや活動団体との連携と、地域活動の核となる人材の発掘・育成に向けた支援を行います。

地域公共交通基本計画策定事業 462万円

地域の実情に応じた地域公共交通の基本計画を策定します。

いじめ問題等対策推進事業 271万円

学校等支援指導員を配置し、いじめの未然防止を図ります。また、いじめ発生時には教育問題等調査および支援対象委員会を立ち上げ、いじめ問題の対策を行います。

障がいのある児童・生徒へのサポート相談事業 183万円

発達障がいのある児童・生徒に関する相談員を定期的に学校などに派遣し、特別支援教育の推進を図ります。

GIGAスクールサポーター配置促進事業 123万円

学校のICT化を推進する技術者を学校に派遣し、ICT環境整備、マニュアル作成など情報機器を利用した学校教育の向上を図ります。

当初予算の総額

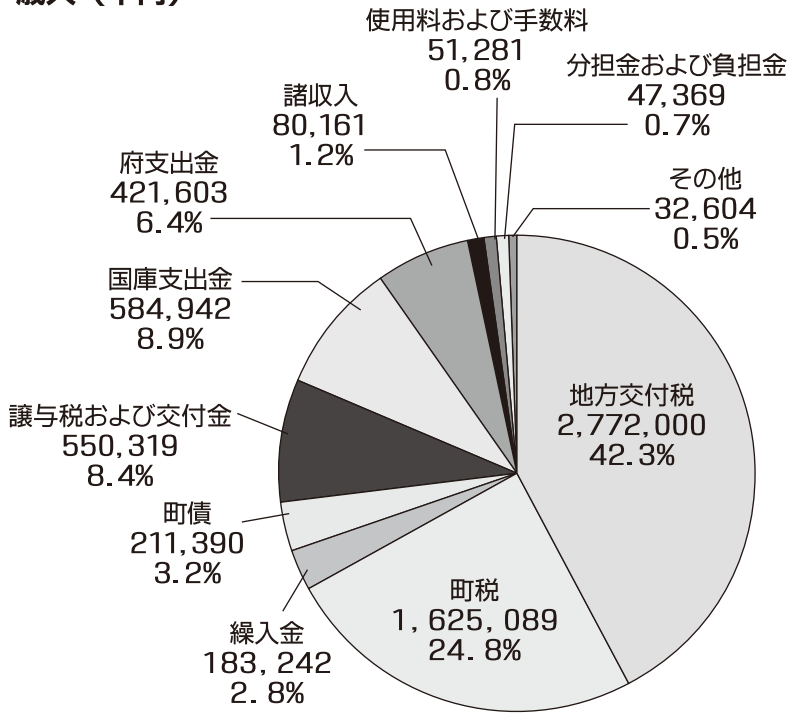
(単位：千円/%)

会計名		令和5年度(ア)	令和4年度(イ)	増減額 (ア)-(イ)=(ウ)	対前年度比 (ウ)/(イ)%
一	一般会計	6,560,000	6,926,733	△366,733	△5.3
特別会計	国民健康保険事業勘定	2,679,360	2,828,827	△149,467	△5.3
	国民健康保険診療所施設勘定	88,307	89,260	△953	△1.1
	後期高齢者医療	647,940	688,126	△40,186	△5.8
	介護保険事業勘定	2,562,931	2,456,639	106,292	4.3
	下水道事業	502,792	455,871	46,921	10.3
	小計	6,481,330	6,518,723	△37,393	△0.6
合	計	13,041,330	13,445,456	△404,126	△3.0

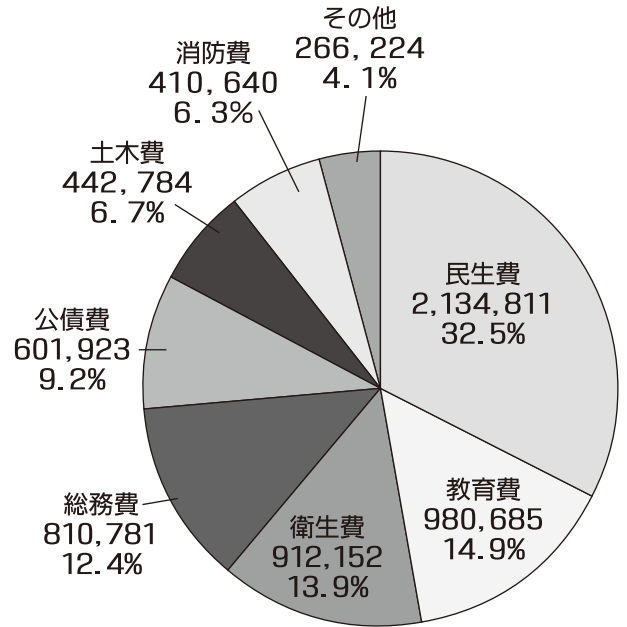
令和5年度一般会計当初予算

65億6,000万円

歳入 (千円)



歳出 (千円)



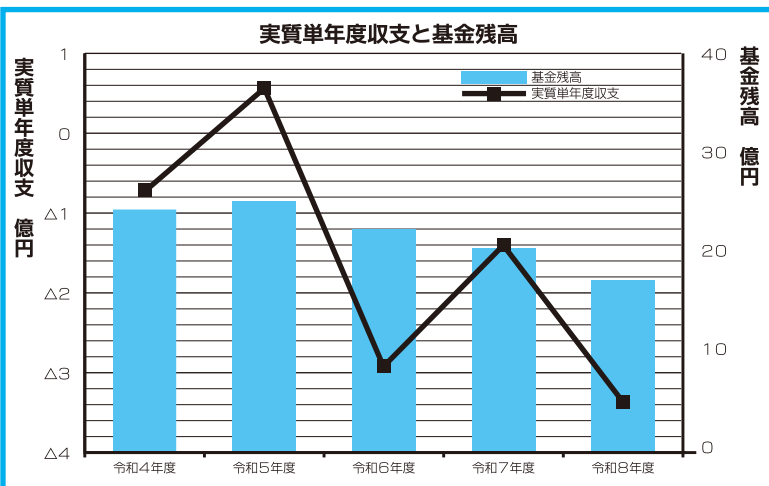
各グラフにおける%の値は、合計を100%に合わせるため、四捨五入の値と異なる場合があります。

豊能町の財政推計 (令和5年3月現在)

令和5年3月現在における豊能町の財政推計 (令和4年度～8年度) を作成しました。下のグラフで、折れ線グラフ (数値は左軸) は実質単年度収支※1の額を、棒グラフ (数値は右軸) は基金残高※2を示しています。

この推計は、「決算が赤字」にならないよう実質収支を±0にするため、基金を取り崩す想定で作成しています。結果として、実質単年度収支の額が概ねマイナス (グラフでは△印) となっており、令和6年度以降の金額は、各年度において基金を取り崩す金額を示しています (グラフ参照 例えば令和6年度は、約3億円の取り崩しが必要)。

このように、本町における今後の財政運営は、基金の取り崩しに頼らざるを得ない状況です。持続可能なまちづくりのために義務教育学校の整備や、老朽化した公共施設の再編を行い、経費の削減を図り、健全な財政運営を行っていく必要があります。



※1 実質単年度収支

前年度からの繰越金を除いた、当該年度だけの歳入・歳出を差し引きした額 (単年度収支) から、基金の積立や取崩しなど、実質的な黒字・赤字要素を控除した額です。

※2 基金残高

基金とは、町の貯金にあたるものです。グラフの基金残高は、一般会計における現金ベースによる金額です。

問 = 行財政課 ☎ 739-3414